

# 南浦和中だより

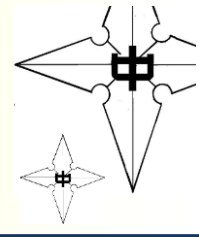
〒336-0026 さいたま市南区辻 6-1-33

TEL 048(863)0753

FAX 048(836)1589

さわやか相談室直通

TEL 048(837)5909



## 『 Yellow Yellow Happy 』

校長 おお こうち のり かず 大河内 範一



自分が幼稚園生だった頃の話だが、登園中に「てんとう虫」を見つけて捕まえた時に、虫から出る黄色い汁が手に付いてしまった。そして何故だかそれをペロリとなめてしまい、あまりの苦さに号泣しながら家に帰ったという、まさに苦い記憶がある。

時を経て校長職に就いてから、てんとう虫は「幸運を運んでくれる虫」だという話を初めて聞いた。気になってちょっと調べてみたところ、てんとう虫にまつわる話が日本だけでなく世界中にあることがわかったのである。

日本では、てんとう虫は「天道虫」と書き、その名前の由来は、お天道様（おてんとさま）から来ているようで、太陽に向かって飛んでいく天の使いと考えられていたとのこと。そんな高貴で素晴らしい虫だったのかと思うと、あの黄色く苦かった汁も、今なら甘く感じられるかもしれない。

また、フランスでは「神様の虫」と呼ばれ、てんとう虫が体にとまって飛んでいくと、どんな深い心配事も一緒に飛んでいくと言われている。さらに、ノルウェーでは、てんとう虫を一緒に見つけた男女の間には愛が芽生えるという、ロマンチックな言い伝えもあるのだ。この他にも様々な逸話があり、てんとう虫は世界各国で絶賛されているのである。なんだかちょっぴりうらやましい。

日本に生息しているてんとう虫のうち、数が多いのは、赤い体に黒の点がある「ナナホシテントウ」と、黒い体に赤の点がある「ナミテントウ」なのだが、体が黄色い「キイロテントウ」というのもいる。このキイロテントウを見かけると、大きな幸運が訪れる前触れと言われている。とりわけこの虫が家の中に入ってきたり、手にとまったりしたときには、その幸運がすぐそばまで来ている証拠なのだそうだ。これからは、黄色い昆虫から目が離せない。

さて、令和6年度がスタートした。カラフルなものや色鮮やかなものが大好きな私は、今年度も校内を美しく彩ったり、アートのパワーを駆使したりして、安心・安全で明るい学校づくりを推進しようと思う。また、学校教育目標の副題を『学校に携わる全ての人々の Well-being を実現するために』としてみた。Well-being には、短期的で個人的な幸せのみならず、「生きがいや人生の意義」「将来にわたる持続的な幸せ」「人生の満足感や幸福感」など、広くて深い意味が込められている。学校からは教育活動や生徒の活躍の情報だけでなく、「幸せ」も発信できるといいなと思っている。そして、生徒の皆さん、保護者や地域の方々など、この南浦和中に関わる全ての人々に幸運が舞い込み、楽しく素晴らしい人生が訪れることを願って、教職員一同、全力でそして爽やかに頑張っていく所存である。1年間、どうぞよろしくお願ひいたします。